

研究に関する情報公開について

研究課題	fixed bearing 型人工膝関節単顆置換術後の無痛回復に影響する因子
研究機関の名称	医療法人社団友志会 石橋総合病院整形外科
研究責任者	高橋 恒存
研究対象者	2023 年 3 月から 2024 年 6 月に当院で fixed bearing 型人工膝関節単顆置換術を受けた方を対象としています。
研究の目的・意義	<p>膝内側コンパートメントの変形性膝関節の患者様に対してfixed bearing型人工膝関節単顆置換術は有効な治療方法で、若年者から高齢者まで広く適応されます。</p> <p>この治療法は疼痛緩和と機能改善が得られる有効な手術であり、全置換術よりも侵襲が少なく、合併症も少ないとされています。</p> <p>しかしながら疼痛が残る患者様は1年で約2%程度とされていて、その原因は多くの因子が関わっていて不明瞭であるとされています。</p> <p>本研究の目的は、fixed bearing型人工膝関節単顆置換術を受けた患者様において、術後1年時点での無痛を達成するための関連因子を明らかにすることです。この研究によって今後の治療方針や予後の予測を立てることに繋がり、有益だと考えられます</p>
研究方法	2023 年 3 月から 2024 年 6 月に当院で fixed bearing 型人工膝関節単顆置換術を受けた方を対象としています。診療録から情報を抽出し、統計解析を行います。本研究では患者様から新たな情報の提供は頂きません。
研究期間	石橋総合病院倫理委員会の承認を受けてから 2026 年 5 月末まで。
研究に使用する情報	患者様の診療録より以下の情報を使用します。 年齢、性別、身長、体重、BMI、患側、術前後膝関節可動域、レントゲン所見、術前後のアライメント、疼痛スコア
研究に関する情報公開の方法	対象の方でご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の資料などを閲覧または入手することが出来ますので、お申し出ください。
個人情報の取り扱い	診療録から抽出する情報は、個人が特定できないように、研究責任者が病院 ID、氏名、生年月日の情報を削除し、個人の特定できる情報を新たな符合に置き換えた上で研究に使用します。データは研究責任者がリハビリテーション部門内で厳重に保管します。新たな符合と個人を特定できる対応表を同様に厳重に保管します。また、研究成果は、個人を特定できないようにして学会発表や論文などで報告します。

研究組織名称	医療法人社団友志会石橋総合病院 整形外科 高橋恒存（研究責任者）
問い合わせ先	【研究責任者】 医療法人社団友志会 石橋総合病院整形外科 高橋 恒存 〒329-0596 栃木県下野市下古山 1-15-4 電話：0285-53-1134